

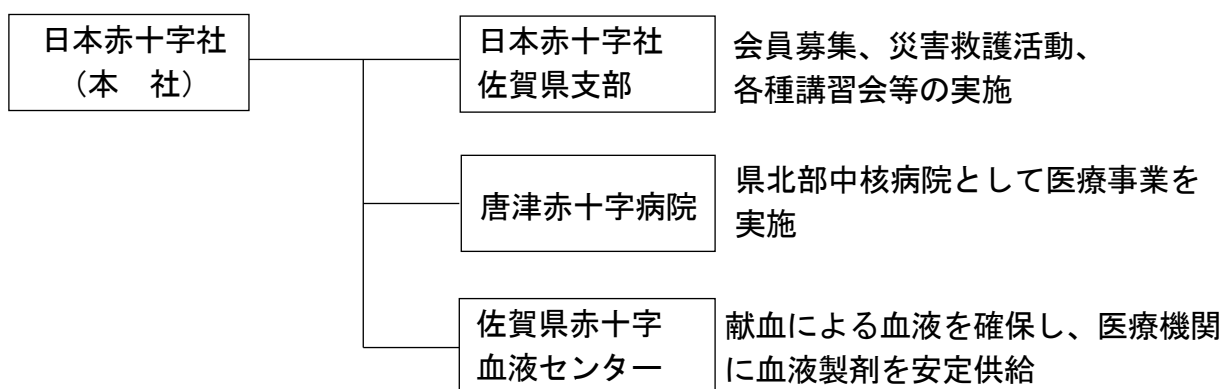
□ 佐賀県内における赤十字組織の概要 □

知力・体力・情熱あふれる人材を求めています!

日本赤十字社は、日本赤十字社法という法律に基づいて設置された法人です。日本赤十字社は、毎年一定の活動資金を納める会員及び様々な活動を展開するボランティアによって支えられ、また、事務局として事業を行なう本社・支部、事業を実施する施設として病院・血液センターなどがあり、多角的に赤十字事業を展開しています。

1. 組織

赤十字の佐賀県内における組織状況は次のとおりです。



2. 各施設について

(1) 日本赤十字社佐賀県支部



赤十字は、「いのちと健康を守り、人間の尊厳を確保するため」人道的諸活動を行っている団体です。

日本赤十字社佐賀県支部は、国際的にはジュネーブ諸条約、赤十字国際会議の決議に基づき、国内ではそれら諸条約、決議を拠りどころとした日本赤十字社法及び同定款に基づき、佐賀県内における赤十字活動の中核を担っています。

具体的には、国内における大規模自然災害における医療救護活動、義援金等の受付、被災者の救

援活動をはじめ、平時においては命と健康を守る各種講習会の開催、青少年赤十字活動の支援およびボランティア活動をしていただく各種赤十字奉仕団の支援を行い、人道的任務を達成するための様々な事業を行っています。

また、日赤本社および佐賀県内の唐津赤十字病院や佐賀県赤十字血液センターと連携しながら、市町の窓口である日赤地区・分区とも円滑な連携に努めています。同時に、赤十字の理念とその活動にご賛同くださる会員を広く募集し、会員からご提供いただく会費と寄付金を確保することで事業の円滑な遂行に努めています。

日赤佐賀県支部は、会員や県民の方々の信頼と期待に応え、国外・国内を問わず積極的に赤十字活動を実践できるタフな人材を求めています。

- 名称 日本赤十字社佐賀県支部
- 住所 佐賀市川原町2番45号
- 開設年月日 明治22年5月28日
- 組織
 - ① 総務課：人事、給与、労務管理、会計、地域窓口との連絡調整、広報、社員募集
 - ② 事業推進課：災害救護、国際活動、講習指導（救急法、水上安全法、幼児安全法、健康生活支援、防災）、青少年赤十字・赤十字ボランティア活動支援
- 職員数 11名

(2)唐津赤十字病院



唐津赤十字病院は、風光明媚な佐賀県唐津市にあります。当院は佐賀県北部地域の中核医療機関として診療圏人口約13万人に対して良質かつ適切な医療サービスの提供を目指しています。

また、当院は地域医療支援病院（地域の医療従事者に対する研修の実施等）、地域救命救急センター、地域連携小児救急センター、地域がん診療連携拠点病院、臨床研修病院等として地域医療発展の役割も担っており、職員一同が「地域医療の最後の砦」として日々奮闘しています。

当院は、医師、看護師等の医療従事者の充実、最新医療機器の整備等、医療提供機能の充実を図っていますが、超高齢化社会の到来を踏まえ、時代のニーズを先取りし、医療環境の変化に対応でき、病院経営を実践できる事務系総合職を募集しています。

- 名称 唐津赤十字病院
- 住所 唐津市和多田2430
- 開設年月日 昭和32年10月
- 組織
 - ① 総務課 人事、給与、労務管理、福利厚生、文書管理、防火、警備
 - ② 会計課 予算・決算、収入・支出、債権管理、営繕、契約
 - ③ 医事課 患者の受付・接遇、料金算定・支払請求・収入調停、医事統計
 - ④ 情報システム課 情報システム開発・運用・管理、電子カルテシステム、
 - ⑤ 医療社会事業課 医療事故対応、災害救護、社会的事業の協力
 - ⑥ 診療支援課 DPCに係る病名コーディング、診療録、医師事務作業補助
 - ⑦ 経営対策室 経営の総合企画、経営・診療情報の調査・管理、DPC分析
 - ⑧ 教育研修推進室 臨床研修の企画、専門医・指導医の育成、職員教育
 - ⑨ 患者総合支援センター 病診連携・病病連携、紹介・逆紹介
 - ⑩ がん医療推進センター がん診療関係、緩和ケア、がん診療に係る相談支援

事務系総合職は、これらの業務を経験し、将来は病院経営の舵取りを担う経営マネジメントスタッフとして育成していきます。

- 許可病床数 304床
- 診療科目 内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、糖尿病内科、腎臓内科、腫瘍内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、

整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科、病理診断科、形成外科、歯科口腔外科（29科）

- 職員数 607名（医師80名、看護師336名、コ・メディカル80名、事務職61名、その他50名）（平成30年3月1日現在）
- 病院収益 91億78百万円（平成29年度）
- 患者数 入院延患者数 101,654名、1日平均279名（平成29年度）
外来延患者数 115,911名、1日平均477名（ ” ）
- 唐津赤十字病院の理念 「安心な医療」・「あたたかい看護」・「地域への貢献」

（3）佐賀県赤十字血液センター



血液事業は、血液を提供する人を募集して、人の血液を採取し「血液製剤」として治療を必要とする患者さんのため、病院等に供給する一連の事業です。

全国で統一された事業運営により、安全性の確保された設備と、より高度な検査・製剤機器を導入して血液製剤の安全性を図っています。

また、各血液センターでの血液製剤の種類や型別の在庫のばらつきをなくし、地域事情により生じる格差（例えば離島の多い県、少子高齢化・人口偏在など）のない全国均質の事業を展開するよう努めています。

当血液センターでは「患者の笑顔と献血者の奉仕の心が見える安心と納得の血液事業」をビジョンに掲げています。人と人が助け合う心を育む血液事業を目指して、私たちと一緒にガンバル人材を求めています。

- 名称 佐賀県赤十字血液センター
- 住所 佐賀市八丁畷町10番20号
- 開設年月日 昭和57年4月
- 組織
 - ① 所長、事業部長
 - ② 総務課(4名) 人事、給与、労務管理、経理
 - ③ 献血推進課(12名) 献血推進、献血者の受入、骨髄バンク登録者の受入れ、広報
 - ④ 採血課(16名) 献血協力者からの採血、原料血液の品質管理
 - ⑤ 供給課(9名) 血液製剤の医療機関への供給
 - ⑥ 学術・品質情報課(3名) 医療機関への医薬情報活動
 - ⑦ 医務課(4名) 献血協力者の健康診断、献血適否の判定、検診医師の指導・調整
- 職員数 50名

3. 先輩達の声

(1) 日本赤十字社佐賀県支部

馬渡 幸秀 (2010年4月入社／事業推進課)

私は支部の事業推進課に所属し、「災害救護」や学校教育の中で赤十字の理念を普及する「青少年赤十字」、いのちと健康を守るための「講習普及」などを担当しています。日々の業務では、様々な職種の方やボランティアの方々と関わる機会が多いため、コミュニケーション能力が何より大事です。また、幅広い分野の事業に関わることができ、赤十字普及のイベントや研修会の企画・運営を若いうちからどんどん経験できる点も魅力の一つです。やる気次第で間違いなく自分自身を成長させることができ、人と人との繋がりの中で「人道」を実感できるこの仕事にとってもやりがいを感じています。人と関わるのが好きで、元気とやる気のある方、ぜひ一緒に働きましょう。



(2) 唐津赤十字病院

川内 かな子 (2015年4月入社／会計課 兼 広報推進室)

私は病院内の物品を管理する会計課用度係に所属し、鉛筆や消しゴムなどの一般消耗品から高額な医療機器まで、院内にある様々な物の購入、修理、保守点検を行っています。すべての契約に際し、業者との価格交渉は絶対に欠かすことのできない用度係の大きな役割の一つです。交渉の中で、質の良い物をいかに安価で購入するかを妥協することなく突き詰めていくことが、ひいては病院の経営を安定化させ、地域の方々への医療サービス向上に繋がると信じています。病院の事務は必ず患者さんを救うことに繋がっており、日常業務の中でも他の赤十字施設とは一味違う「やりがい」を見つけられると思っています。



(3) 佐賀県赤十字血液センター

清水 翔太郎 (2012年4月入社／供給課)

私は、主に輸血用血液製剤を医療機関に届ける供給課に所属しています。輸血用血液製剤は、皆様の献血によりいただいた血液をもとに作られます。皆様の善意を無駄にしないよう、全国規模で調整を行い、輸血を必要としている患者様のため、私たちは365日24時間体制で業務を行っています。供給業務は、内部はもちろん外部との連携、コミュニケーションが大変重要な業務です。お互いを思いやり、真摯に業務に取り組める方、ぜひ一緒に働きましょう！

